

歴史的風致形成建造物 指定台帳

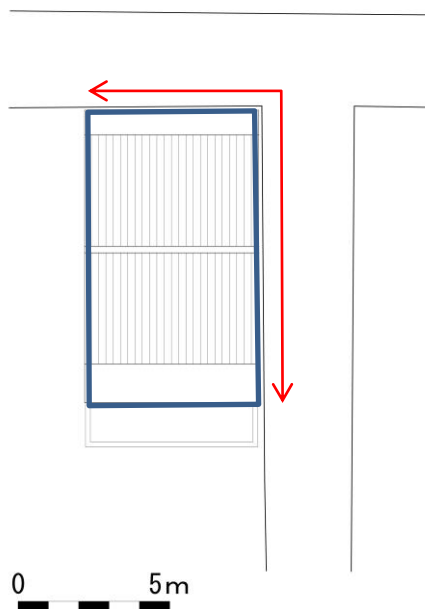
指定番号	18	名称	山本家貸家	
指定年月日	R1.11.22	所在地 (指定地)	奈良市南市町 16 番地 2	
指定建造物	主屋	建築年代 ・概要	大正後期頃	木造二階建、切妻造、平入、棧瓦葺一部銅板葺
位置 ・ 歴史	<p>猿沢池の南西に位置する南市町は、16 世紀から 17 世紀頃まで興福寺の僧たちが開設した市場があった土地で、狭い街路が細かく縦横に通る独特の町並みが形成された。大正初め頃からは芸妓の置屋が建ちはじめ、歓楽街として発展した。</p> <p>当地はもともと西隣と一体の土地で、北面する敷地の間口いっぱい建物が建っていた。大正 12 年に登記されており、その頃の建築とみられる。所謂二戸一の建物であったようで、戦後東西別々の所有者が取得し、西側は近年取り壊されたが、東側が当地に残る。当初は茶屋として建てられたとみられ、戦後はバーやスナックとして営業していた。平成 28 年に現在の所有者が購入し、現在は貸店舗となっている。</p>			
建物特徴 ・ 改修履歴	<p>当家は、町内の西端に位置する一角の北東角地に北面して建つ元二戸一の長屋の東半部で、建ちが高く、軒を小舞裏とし、2 階に凝った意匠の手摺りを設ける外観は、町内に残る茶屋建築と類似する。1 階正面は昭和後期に改修されていたが、令和元年度の修理では改造部分を撤去し整備した。なお、平成 8 年に撮影された写真では西側建物は出格子を構えていたが、痕跡から当家も同様であったことがわかった。2 階正面に縁を張り出し、全面にガラス窓を入れ、大屋根の軒先部分や下屋庇を銅板葺とする点は、他の類例には見られない特徴である。</p> <p>内部は、1 階の正面側にカウンター付きの店舗、中央に厨房、奥に和室を設ける。2 階は、中廊下を配して、正面に 2 室、背面に 1 室を並べる。1 階は昭和後期に大きく改造されているが、2 階には、竹やヨシを用いた掛込天井、柱目の上質な材と華奢な竿縁を用いた猿類天井、円窓などが残り、数寄屋風の意匠である。</p> <p>全体的に数寄屋風の意匠をもつ茶屋建築で、周辺の町家とともに町の歴史を示す建物として貴重である。</p> <p>改修履歴) 昭和後期：1 階の外観と内部を改修。令和元年度：1 階の外観を整備。</p>			
活用	貸店舗として活用			
価値	<p>中世の市を起源とする独特の街区形態をもち、近代には歓楽街として発展し、現在も多くの飲食店が営業する南市町に残る茶屋建築のひとつで、当町独特の風情を醸し出している町家として、奈良町の町家の暮らしにみる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>			



歴史的風致形成建造物 指定台帳



付近見取図



配置図

-  該当建造物
-  公開範囲